



## 備中松山城



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	びっちゅうまつやまじょう
所在地	高梁市内山下
指定年月日	昭和16年5月8日
解説	<p>天守・二重櫓・三の平櫓東土塀からなる。松山城は、天和元～3年(1681～3)にかけて、標高約400mの臥牛山[がぎゅうざん]の小松山に松山藩主水谷勝宗[みずのやかつむね]によって築城された。天守の外立面は重厚に飾り立てているが、内部は簡素な造りである。棟高約10m、西南に面して建つ。二重二階土蔵造り。入母屋造り、本瓦葺き。二重櫓は、二重二階櫓、土蔵造り。棟高約8m。天守を背後から防御していた。いずれも、近世の山城の特徴をよく示した建築であり、高梁市のシンボリックな存在として多くの来訪者に親しまれている。</p>
アクセス方法	JR備中高梁駅から車で10分、下車後徒歩20分
公開状況	開城: 9:00～17:30(10～3月は～16:30) / 入城料必要 / 休城: 12/28～1/4 / 問: 0866-22-1487
設備	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <span>駐車場</span>  <span>トイレ</span>  </div>
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	備中松山城
よみかた	びっちゅうまつやまじょう
しょざいち (所在地)	高梁市内山下
していつひ (指定した日)	昭和16年5月8日
せつめい	高梁市(たかはし)の北(きた)にある臥牛山(がぎゅうざん)の標高約(ひょうこうやく)400メートルにある山城(やまじろ)で、天守(てんしゅ)が現存(げんそん)する山城(やまじろ)としては日本一高(にほんいちたか)いところにあります。天守(てんしゅ)と二重櫓(にじゅうやぐら)は建(た)てられた1683年(ねん)当時(とうじ)のままの姿(すがた)で残(のこ)っています。